

2016.1.20 ニュースリリース

中国人を対象に 2016 年の旅行に関する意識・動向調査 日本は 2016 年に「訪れたい国」第 1 位。3 年連続 泊まってみたい宿泊施設は、旅館の露天風呂付き部屋

厳選した旅・食・遊情報を提供するオンラインメディア「トラベルズー」(URL; www.travelzoo.co.jp)を運営するトラベルズー・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:大江晃一郎、以下トラベルズー・ジャパン)は、中国本土でトラベルズー中国の会員を対象に実施した旅行に関する意識・動向調査の結果から、中国本土における 2016 年の旅行者の傾向をまとめました。

主な調査結果は以下の通りです。

主な調査結果

- 中国人が訪れたい国として「日本」が、3 年連続で 1 位に！
- 日本で体験してみたい宿泊施設は旅館の露天風呂付きの部屋。露天風呂付きの部屋は日本人だけでなく中国人にも人気
- 人気の日本食は、王道の寿司・刺身。続いて和食・懐石料理。3 位は和牛ステーキ。和牛の知名度の高さがうかがえる。また、ローカルの日本の食文化体験にも興味を示す結果にも注目
- 中国人旅行者は、日本に歓迎されているという認識。中国人旅行者にとって旅行しやすい環境であることの表れ
- 旅行の様子や写真、ビデオをシェアする際に主に利用するのは、「Wechat(微信)」
- 旅行の回数は減少傾向だが予算は増加しており、クオリティの高い旅のスタイルへシフトしてきている

調査概要

調査時期: 2015 年 11 月 16 日～12 月 19 日

有効回答数: トラベルズー中国会員: 2,111 名

調査対象: 旅行が好きなトラベルズー登録会員

※トラベルズーでは毎年年末に、アジア・パシフィック地域における旅行に関する意識・動向調査を 2010 年から実施しており、今年で 6 回目となります。

<トラベルズーについて>

トラベルズーは、価値の高い旅行情報の配信と非日常体験を販売するオンライングローバルメディアです。アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界に 26 拠点をもち、世界 2,800 万人、日本 100 万人を超える会員が登録しています。

トラベルズーでは、旅、スパ、レストランなどの情報に精通した世界 250 名以上の Deal Expert が、毎週 2,000 社を超える旅行、レストラン、エンターテイメントやスパなどの企業の情報をリサーチし、これらのリサーチで発掘した情報の残存数や販売状況などの詳細を販売元に直接問い合わせ、消費者の目線で確認します。さらに条件を満たした情報を編集会議にかけて、様々な角度から評価し、厳選します。このプロセスを経て厳選された、最も価値の高い「旅・食・遊」情報を、毎週水曜日のメールマガジン「Top 20™」や、最旬の号外情報「Newsflash™」として会員へ配信しています。また、非日常体験ができるラグジュアリーレストランやエンタメ情報「Local Deals™」、非日常体験ができる海外・日本のホテルの宿泊プランを「Getaways」として掲載し、配信・販売しています。

【添付資料】 ※詳細データが必要な場合は、担当者までお問合せください。

Q1. 2016年に訪れたい場所はどこですか？最も訪れたい国・エリアを5つ選んで下さい。

中国人が訪れたい国として「日本」が、3年連続で1位に！

2016年に訪れたい場所はどこですか？という質問に対して「日本」と回答した人が39.24%と最も多い結果となりました。これは、2014年以来3年連続で日本が訪れたい場所として1位となりました。

	2014		2015		2016	
1位	日本	29.30%	日本	39.65%	日本	39.24%
2位	アメリカ	28.90%	アメリカ	31.41%	アメリカ	33.05%
3位	台湾	25.90%	ニュージーランド	26.82%	オーストラリア	28.19%
4位	ニュージーランド	25.00%	オーストラリア	25.65%	ニュージーランド	28.10%
5位	タイ	24.10%	台湾	24.94%	台湾	21.52%

Q2. 日本へ旅行する際どのような宿泊施設に泊ってみたいですか？(3つ選んで下さい)

日本で体験してみたい宿泊施設は旅館の露天風呂付きの部屋。露天風呂付きの部屋は日本人だけでなく中国人にも人気

日本に旅行する際に宿泊してみたい部屋は、「温泉エリアや京都、北海道などの都市圏外の旅館の露天風呂付部屋」が53.40%で最も人気がありました。次いで「東京や大阪などの都市でのビジネスホテル」が40.60%で2位となりました。1番人気だったのは、価格が抑えられるエコミーな部屋より、価格の高い露天風呂付き部屋でした。これは、近年、質の高い旅を求める中国人旅行者が増えてきている傾向にあることが背景と思われます。

1位	温泉エリアや、京都、北海道などの大都市圏外の旅館の露天風呂付部屋	53.40%
2位	東京や大阪などの都市でのビジネスホテル	40.60%
3位	温泉エリアや、京都、北海道などの大都市圏外の旅館での和室	38.80%
4位	東京や大阪などの都市での外資系ラグジュアリーホテル	30.40%
5位	東京や大阪などの都市での Airbnb などのホームステイ	25.40%

Q3. 日本へ旅行へ行く際、どのような日本食を食べたいですか？(3つ選んで下さい)

人気の日本食は、王道の寿司・刺身。続いて和食・懐石料理。3位は和牛ステーキ。和牛の知名度の高さがうかがえる。また、ローカルの日本の食文化体験にも興味を示す結果にも注目

日本旅行の際に食べてみたい日本食は、「寿司、刺身」が1位(51.90%)、「和食・懐石料理」が2位(49.60%)と王道の日本料理がトップ2を押さえました。また、近年世界でも注目を浴びている「和牛ステーキ」が40.00%の人が選び3番目に人気でした。注目したい点は、4位以下です。「ラーメン」(27.50%)や「居酒屋」(26.00%)などのいわゆるB級グルメ的な食事や、「日本の家庭料理」(18.50%)、「そば・うどん」(13.70%)など庶民的な日本食が4位～7位を占め、ローカルの日本の食文化体験にも興味を示す中国人旅行者が多いことが分かります。

1位	寿司、刺身	51.90%
2位	和食・懐石料理	49.60%
3位	和牛ステーキ	40.00%
4位	ラーメン	27.50%
5位	居酒屋	26.00%
6位	伝統的な日本の家庭料理	18.50%
7位	そば、うどん	13.70%
8位	すき焼き	11.60%
9位	お好み焼き・タコ焼き	9.00%
10位	焼肉	8.40%

Q4. どの国が中国人旅行者を歓迎していると思いますか？

中国人旅行者は、日本に歓迎されているという認識。中国人旅行者にとって旅行しやすい環境であることの表れ
中国語での表記や、中国語で接客ができるお店が増えてきているなど特に中国人観光客の受け入れ態勢が整ってき
ているという成果が表れているようで、中国人旅行者を歓迎していると感じる国として「日本」と回答した人が最も多い
16.53%という結果となりました。

1位	日本	16.53%
2位	タイ	14.62%
3位	中国	10.25%
4位	韓国	8.33%
5位	アメリカ	5.60%

Q5. 旅行の様子や写真、ビデオをシェアする際に次のどれを主に利用しますか？

旅行の様子や写真、ビデオをシェアする際に主に利用するのは、「Wechat(微信)」
訪日中国人旅行者に向けてのマーケティングツールとして日本でも注目を浴びている Wechat(微信)。やはり中国人に
圧倒的な人気を誇り、トラベルズーの会員でも 80.00%が Wechat(微信)を利用して旅行の様子をシェアしているという
結果となりました。

1位	Wechat (微信)	80.00%
2位	Weibo (微博)	8.70%
3位	Facebook	2.60%
4位	Instagram	2.80%
5位	Whatsapp	0.50%

Q6. 2016年の旅行回数と予算を教えてください。

旅行の回数は微増。予算も増加しており、クオリティの高い旅のスタイルへシフトしてきている
2015年の海外旅行の平均予算額は、37,007元(日本円で662,827円相当)だったのに対し、2016年の予算は、39,060
元(日本円で699,579円相当)と増加。2015年に実際に行った海外旅行の回数は1.84回だったのに対し、2016年の海
外旅行予定平均回数は、1.96回と微増となりました。回数はそれほど増えていないなか予算は増えているため、1回の
旅行の予算が上がり、連動して旅のクオリティも上がっていると考えられます。

		2016	2015
海外旅行の平均予算額	中国元	39,060	37,008
	日本円	699,579	662,827

2015年の海外旅行平均回数	1.84回
2016年の海外旅行予定平均回数	1.96回